

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

技術者としての使命と責任を全うし、我が国の産業と社会の発展を図る資質を備えるため、次の方針の具体的目標を確立して、その達成に努力する。

- 感謝の心や奉仕の精神を尊び、豊かな人間性を培う。
- 主体的・協働的で深い学びを育む授業・実習を展開する。
- 向上心・探究心を持たせ、工夫創造の能力を伸ばす。
- 使命感と工業技術を活かした地域貢献の態度を育てる。
- 実践力と、社会の変化に対応できる生きる力を育む。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、工業高校としての特色を生かした総合的な学習を通して、自己の在り方や生き方を考えながら、課題に対して真摯に取り組む解決していくために、以下の資質・能力を育成する。

- 工業高校としての特色に関する探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につける(知識・技能)
- 工業に関することと自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立て、調査して得た情報を基に分析する力と、それらを表現する力を身につける。(思考力・判断力・表現力)
- 工業に関することについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、産業の発展に寄与するために行動し、社会に貢献する態度を育てる。(学びに向かう力・人間性)

総合的な探究の時間の学習評価

- ・ 討論や質疑の様子などの言語活動の記録により評価。
- ・ 学習や活動の状況などの観察記録により評価。
- ・ レポートや製作物などの活動の様子により評価。
- ・ プレゼンテーションなどの表現により評価。
- ・ 堅実な職業観。
- ・ 他人及び社会について深く考え、思いやりの心。

生徒の実態

- ・ 基本的な生活習慣が身につけていない生徒がいる。
- ・ 学習習慣が身につけていない生徒がいる。
- ・ コミュニケーションが苦手な生徒がいる。

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・ 個に応じた、きめ細やかな指導
- ・ 職員間の情報共有及び外部機関との連携

目指す生徒の姿

- ・ 基本的な生活習慣が確立されている生徒
- ・ 必要な基礎知識を持っている生徒
- ・ 実践力と社会の変化に対応できる生徒

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

1学年(総合的な探究の時間1単位)

- 自己探求(自己分析)
  - 【自分を知る】  
自己理解を深化させるとともに、自分の適性を見極める。(学びに向かう力、人間性等)
  - 【自分と社会との関わりを考える】  
社会の在り方や社会と自分とのより良い関わり方を探究する。(思考力・判断力・表現力)
- 進路探究(進路実現)
  - 【基礎学力の定着】  
国語、数学、英語を中心に、キャリアの土台となる基礎学力を身につける。(知識及び技能)
  - 【資格の取得】  
進路実現に必要な資格について調べ、取得に向けて計画を立てて学習を進める。(知識及び技能)(学びに向かう力、人間性等)

3学年(総合的な探究の時間2単位を課題研究2単位で代替)

- 地域産業や教育・福祉等の分野で支援するために必要な課題の調査
  - 情報収集の方法や精査する能力。(知識及び技能)
  - 情報を整理・分析し、課題解決の方法を見出す力。(思考力・判断力・表現力)
  - 実現に向け主体的・協働的に取り組む姿勢。(学びに向かう力、人間性等)
- 課題解決または支援するための作品製作
  - 実験や製作に必要な知識及び技能。(知識及び技能)
  - 実験結果を分析し、必要に応じて修正できる力や様々な視点から課題解決の達成度を検証する力。(思考力・判断力・表現力)
  - 発表に向け主体的・協働的に取り組む姿勢。(学びに向かう力、人間性等)

学習活動、指導方法等

- ・ 他者と協働して課題を解決しようとする学習活動を展開する。(グループ)
- ・ 言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動を展開する。(個人、全体)
- ・ インターネットなどを使用し、情報を収集・整理・発信する学習活動を展開する。(個人、グループ)
- ・ 情報を主体的に活用できる学習活動を展開する。(個人)
- ・ 社会体験、ものづくりなどの生産活動を取り入れた学習活動を展開する。(全体)
- ・ 実験・調査・研究・発表や討論などを取り入れた学習活動を展開する。(グループ、全体)

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・ 教務部、進路指導部、総合的な探究の時間担当者が連携を図り、探究活動を展開する。学習活動内容、評価内容の確認。また、授業担当者間で適宜情報交換を行う。
- ・ 工業科(4科)科長会議により、課題研究の統括。内容については各科会議により各科で精査する。